大分県労連第32回定期大会が9月13日、開催されました。運動方針は新型コロナウイルス感染の問題と対峙し、雇用とくらしを守り新自由主義的な「政策」を転換させる、運動は職場の枠をこえて取り組むことなどを確認しました。新年度は賃金闘争を強化するため、大分県の最低生計費調査に取り組むことも確認しました。

　最後に再任された安藤議長の音頭で閉会しました。

「ひとりひとりの要求を瞳のように大切に、コロナ禍の大ピンチをチャンスに変えていこう！　組合民主主義と憲法を守りぬき暮らしに活かそう！　そのために大分県労連は団結・連帯してガンバロー！！」

